

論点整理（ALM）

1．経済価値の考え方

逆ザヤ解消と経済価値ベースALMは整合的か

2．経済価値評価と資本政策

経済価値ベースALMにおける内部留保やハイブリッドキャピタルの意義は何か

3．モデリング

直接法と間接法を実務的に調和させることはできるか（Girard 論文参照）

個別契約法を原則とすべきか。その場合に静態的設計を容認するか

経済価値ベースALMのための内在オプション評価はどうあるべきか

（1）VAのGMO等の明確な金融オプションを除けば、静態的設計（ストレステストの併用）が基本か

（2）動態的設計では合理的行動をどこまで織り込むか。保有資産との独立を前提とすべきか
企業保険の経済価値評価はどうすべきか、またALMにどう反映すべきか

4．ALMリスクの測定

経済価値ベースのALMリスクの測定はどうあるべきか

（1）金利期間構造と株価の変動を重視したインパクト分析が基本と考えてよいか

（2）継続性分析は必要か。どのような場合に有効か

5．制度的な課題

マーケットインパクトを回避しつつ経済価値ベースALMに移行するにはどうすればよいか

6．ALMの視点でのソルベンシー の課題

負債評価手法使い分けのためのヘッジ可能・不可能でのリスクの分離を具体的にどうするか

CoCアプローチの妥当性（リスク管理実務との整合性）

（注） は一般的な論点と考えられる事項。 はそのうち結論に至るのもう一段の深い議論が必要と考えられる事項

以上